

令和 5 年 11 月 10 日

中野区長 酒井直人殿

## 令和 6 年度 公明党議員団予算要望書

公明党議員団

幹事長 小林 善一

久保 里香

平山 英明

南 勝彦

甲田百合子

白井 秀史

木村 広一

日野 崇



本年 5 月の新型コロナ「5類」移行に伴い、経済活動の正常化と消費の回復は緩やかに進んでいるものの、長引くロシア・ウクライナ情勢に加え、イスラエル・パレスチナ問題が悪化の一途をたどり、物価上昇に加え再び円安基調が強まる中で、依然として先行き不透明な状況が続いている。

我が国の少子高齢化のスピードが速まる中、区民の生活においても、生活困窮者がさらに厳しい状況に立たされていることを鑑み、実態に即した効果的な支援策を継続して講ずることが求められている。

公明党議員団は、日々まちを歩き、子どもや子育て世代、女性や若者、高齢者や障害をお持ちの方等、区民の声に耳を傾けてきた。それらの現場の声を踏まえ、区民が直面する課題の解消に取り組むことがますます重要であるとの認識を強くしている。

すべての人を支える安心の基盤と、100 年先も誇れる中野のまちをつくるため、議員団として政策 152 項目(重点 16 項目・その他 136 項目)を提案し、令和 6 年度予算に反映されるよう要望する。

なお、予算編成にあたっては、要望項目の反映とともに、国の動向を注視し、引き続き緊張感を持った不断の改革と持続可能な財政運営に取り組まれることを強く求める。